

戦闘機 F-2 (空幕)



日米の先進の技術を結集して生まれました

F-2は、米国のF-16の運用の考え方や地理的な特性に合わせ、日米の優れた技術を結集し日米共同で改造開発した戦闘機です。昭和63年にFS-Xとして開発に着手し、平成7年に初飛行、12年度に開発は完了しました。F-16からの主な改造点は、旋回性能の向上のため主翼面積を増やし、軽量化のため先進材料や先進構造を取り入れたこと。また離陸性を高めるためエンジンを推力向上型に変え、さらに最新レーダーなど、先進の電子機器を採用しています。

主要スペック	分類	戦闘機		
	乗員	1~2 (教育訓練用) 人		
	全幅	11.1m	全高	5.0m
エンジン	全長	15.5m		
	搭載数	1基		
	名称	F110-GE-129 (ゼネラル・エレクトリック社)		
	推力	13.4t (地上静止時)		
	型式	ターボファン・エンジン		
	最大全備重量	約 22t		
性能	最大速度	マッハ約 2.0		
	武装	20mm 機関砲、空対艦ミサイル、 空対空赤外線ミサイル、 空対空レーダーミサイル		

金額 : 8機 935億円 (平成19年度受注)

製作 : 三菱重工業㈱・(機体・エンジン) 石川島播磨重工業㈱